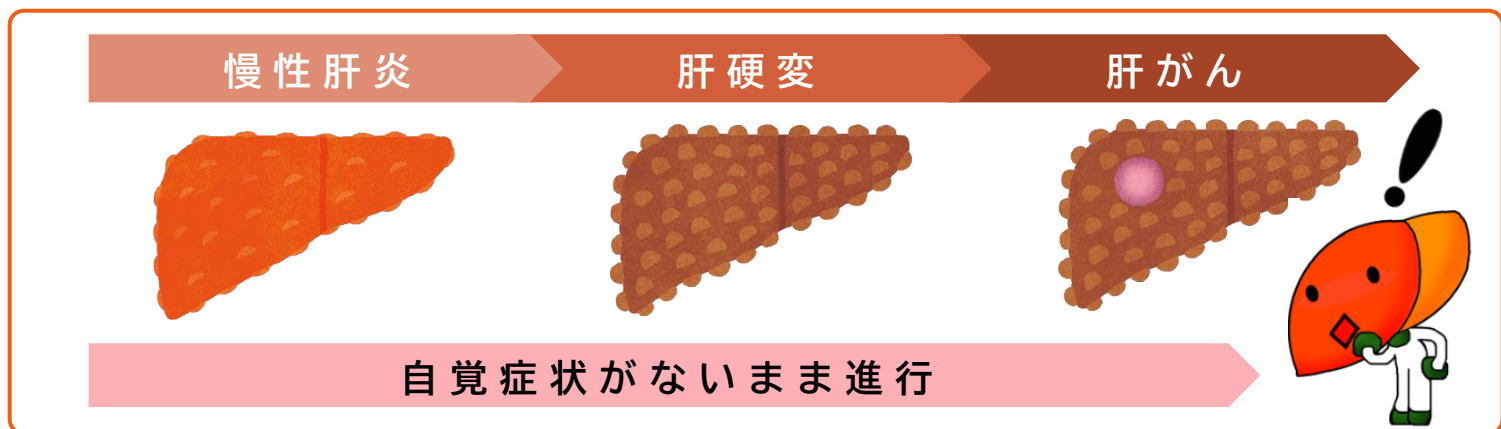


肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方、 現在治療中・治療後の方へ

肝炎ウイルスは、気づかないうちに、数年から数十年かけて肝臓を傷つけ、慢性肝炎から肝硬変、肝がん(死亡原因第5位※)に病態が進行するおそれがあります。

※出典 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計2024年)



検査や医療費の助成制度のご案内

検査費用の助成

■ 初回精密検査費用

肝炎ウイルス検査(都道府県・市町村・職域検診・妊婦健診・手術前)で陽性と判定された方は、**無料**で精密検査を受けることができます。



■ 定期検査費用

治療後又は経過観察中の方は、自己負担額**最大2,000円**(慢性肝炎)、または**最大3,000円**(肝硬変・肝がん)で、定期的な検査を受けることができます。(C型肝炎はウイルス排除後も対象です)



医療費の助成

■ 肝炎の医療費

インターフェロンフリー治療、核酸アナログ製剤治療等の医療費が**自己負担額月1万円**になります。(世帯所得の高い方は月2万円)



■ 肝がん・重度肝硬変の医療費

肝がん・重度肝硬変の入院又は肝がんの通院の医療費が、高額療養費の限度額を超えた2月目から**自己負担額月1万円**になります。(年収等の条件があります)



助成に関する詳細な内容は、お住まいの都道府県の肝炎・肝疾患担当課・係にお問い合わせください

肝疾患専門医療機関
を検索

肝ナビ
肝炎医療ナビゲーションシステム



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare